

囲いやま森の会 活動記録

2008.4.6 野口 功

日 時: 2008.4.5(土) 10～11時30分 天気: 晴

参加者 新井 池田 西澤 野口 増田 三嶋 山口 山田 8名
岡部 1名

春です。ミズキの新緑がとても鮮やかです。コブシの花は盛りをすぎましたが、これからコナラなどの落葉樹がいっせいに芽吹き、森は新たな装いにつつまれます。

活動内容

- ① 3月に菌種の駒打ちをしたシイタケのホダ木を、林の中の半日影になる場所に積み替えました。
- ② 道路沿いのごみ収集 ③ チェーンソーの掃除・調整

連絡・報告事項

- ① 次回の定例活動日 4月15日(火) 10:00～
- ② 総会: 2007年度の報告、2008年度の計画、会計報告、役員改選など
4月15日(火) 13時～(場所: 金ヶ作会館会議室)、会議後懇親会で一杯?
- ③ 看板(掲示板)の設置について
以前に切ったムクノキの丸太で部材はできましたが、かなり重たいので組立て設置が大変です。今日は、人手が不足でやめました。参加者が多い時に行ないたいと思います。
- ④ 新しく発足した「里やまV・千駄堀」(V:ファイブ)が、新フィールド(千駄堀の森)のゴミ清掃作業を行ないます。みんなで応援しましょう。4月22日(火) 10時から
- ⑤ 緑と花のフェスティバル2008
4月29日(火・祝日) 21世紀の森と広場(南口⇒つどいの広場)
里やま応援団グループの展示、緑推進委員会のスタンプラリーにご協力をお願いします。
- ⑥ 公民館主催の成人講座の一環として、囲いやまの森での体験講座の申し入れがありました。
6月1日(日) 10時～12時の予定です。
- ⑦ ちばコープテーマネット・里やま応援団から、「森の楽校」の共催申し入れがありました。
6月8日(日) 10時～14時、囲いやまの森で行なう計画です。
- ⑧ 松戸里やまクラフトの会のご案内(第2回)
4月26日(土) 13時～(定例日は毎月最終土曜日の午後)。参加費500円。
野口宅の工作室・駐車場(ハヶ崎5-38-3)、定員: 10名程度(申込先着順)
前回に続き、竹工作の基本。終了後懇親会(別途費用)
参加希望者は、野口まで申し込みを。(047-345-6086 又は n-gera02@ktd.biglobe.ne.jp)



囲いやま森の会 活動記録

2008.4.15 野口 功

日 時: 2008.4.15(火) 10～12 時 30 分 天気: 晴

参加者 新井、池田、木村、西澤、野口、福山、三嶋、山田、けやき
高木

9 名
1 名

菜種梅雨でしょうか、ここのところ不順な天候が続いていますが、この日だけはばっちり好天に恵まれました。こんな日は、何をおいてもまず森を一巡。春の息吹を満喫しました。熊野神社との間の草地は、以前と違って、ハコベやヒメオドリコソウなどの小さな草が一面に花盛り、思わず寝転んで青い空を仰ぎました。とても気持ちがよかったです。(詳しくは観察記録を)

通りがかりで作業を覗いていた方に声をかけたら、喜んで森を一巡りしていました。

活動内容

- ① 新井さんが、いつものように作業前に道路沿いのごみを集めてくれました。結構、捨てられています。6月には、定例の清掃を行ないたいと思います。
- ② 懸案だった掲示板の組立て設置をしました。1年前に切ったムクノキの丸太を柱にし、入口を作ったときに抜いたコンクリートの杭を添え木にしました。重くて大変な作業でした。柱の左右を間違えたので、横木がうまくホゾ穴に入らないなど不具合もありましたが、なんとかできました。すべて、森の産物と廃物利用ですが、上部に「囲いやまの森」の名板もつけ、それなりに格好はつきました。今後は、掲示板を使って、活動の様子やイベント予定などを外部にも知らせていきたいと思います。

連絡・報告事項

- ① 次回の定例活動日 5月3日(土) 10:00～
- ② 新しく発足した「里やまV・千駄堀」(V:ファイブ)が、新フィールド(千駄堀の森)のゴミ清掃作業を行ないます。みんなで応援しましょう。4月22日(火) 10時から
- ③ 緑と花のフェスティバル2008
4月29日(火・祝日) 21世紀の森と広場(南口⇒つどいの広場)
里やま応援団グループの展示、緑推進委員会のスタンプラリーにご協力をお願いします。
- ④ 5月11日(日) 緑ネットの定例観察会。松戸市で初めて特別緑地保全地区に指定された矢切栗山地区の斜面林を歩きます。9:30 矢切駅前集合。参加費 300 円。
- ⑤ 6月1日(日) 10時～12時 公民館主催の成人講座(囲いやまの森での体験)
- ⑥ 6月8日(日) 10時～14時 「森の楽校」(里やま応援団と共催)
森の観察、鳥の巣箱づくり、木の名札つけ、丸太切りなど
- ⑦ 松戸里やまクラフトの会のご案内(第2回)
4月26日(土) 13時～ (定例日は毎月最終土曜日の午後)。参加費 500 円。
野口宅の工作室・駐車場(八ヶ崎 5-38-3)、定員: 10 名程度(申込先着順)
前回に続き、竹工作の基本。終了後懇親会(別途費用)
参加希望者は、野口まで申し込みを。(047-345-6086 又は n-gera02@ktd.biglobe.ne.jp)



囲いやま森の会 活動記録 (2008 年度総会)

2008.4.19 野口 功

日 時: 2008.4.15(火) 13～15 時 金ヶ作会館会議室

参加者 池田、木村、高鳥、西澤、野口、福山、増田、三嶋、山田、けやき 10 名
高木、深野 2 名

1. 2007 年度活動報告、収支決算報告・会計監査報告、花王助成金の報告、2008 年度活動計画、2008 年度予算は承認されました。
2. 新世話役： 次の 7 名を選出
野口功（代表）、出広直博、木村末次（会計監査）、西澤淑子（会計）、三嶋秀恒（事務局）
山口熙、山田幸子（会計）
岩田肇さん、増田俊郎さんは、世話役を退任され、増田さんは、会計監査となりました。
3. 現在の会員数： 24 名。
総会に欠席された方は、早めに今年度の会費をお願いします。昨年度未納の方もよろしく。
4. 今後の活動について、＜意見交換＞
 - ① 昨年度入会された 2 人の感想
「音楽会をした広場がきれいになった。陽がさすととても素適。あちこちの森に行ったけれど、囲いやまの森が一番。参加できてよかった」
「11 月に退職し、誘われて参加した。自宅近くの千駄堀の森はごみが一杯。最近少しきれいになったが、一般の人が入れなくなったのが残念」
 - ② ホームページの開設について URL: <http://matsudo-satoyama.org/>
6 月から、「囲いやま森の会 HP」を公開する予定で準備を進めている。
ニュース、会の紹介、活動記録、観察調査、グループ紹介、里やま資料などのメニュー
活動報告などを掲載する場合、個人名は記載しないで欲しいとの要望があった。
画面デザインやメニューなどについて、皆さんの意見・提案をお願いします。
 - ③ 通路で囲まれた内側の溝腐れ病のスギは順次、伐倒する。
その機会を活用し、数回の伐倒安全講習を実施する。
 - ④ 夏季のお出かけ観察会
7 月 29 日（火） 長野県八島湿原とその周辺
(他のグループにも参加を呼びかけて、貸切バスとする)
7:30 松戸出発、18:00 帰着予定 費用 3,500 円程度 (人数により変動)
 - ⑤ 森の準解放について
定例日の内、一般の参加を受け入れる日を設定し、掲示板で作業への参加をよびかける。
様子を見て、会の管理の下に、一般の立入りを認める日の設定を検討する。
 - ⑥ お楽しみ会など
夜の虫観察会は、金ヶ作の森を会場にしてはどうか（金ヶ作の会・三樹の会と相談）
カブトムシなどを寄せるには、落葉プールに果物屑を埋めるなど数年の取組が必要。
各種のお楽しみ会・見学会などは、それぞれのグループ間の調整をした方がよい。
 - ⑦ 会の名称について
通常は「囲いやま森の会」を使用する。当面、役所などとの関係では、「松戸里やま応援団（2 期）」の名称変更を行わない。

囲いやま森の会 観察記録

2008.5.25 野口 功

日 時： 2008.5.20（火） 10 時～ 天気： 雨

記録・写真： 山田幸子

暖かくなると、生き物が目につくようになります。作業日の前日（5 月 19 日）、写真を撮りに行きました。するとヤマトシリアゲ・テントウムシ・クモの仲間・コメツキムシの仲間・ハバチの仲間・ガの仲間と、たくさんの生き物を観察することができました。また今年も会えた喜びを、繰り返される季節の移ろいの中で、嬉しく感じる時間でもあります。ある本に、「**自分の目で確かめ、自分で記録したものだけがあとに残り、自分の中で生きてきた道しるべとなっている。**」というような内容が書いてありました。物事を追求し、筋の通ったものとして、自分の中に取り入れている姿は、眩しいものです。そんな人生を歩んでいる人は、幸せな人だと思います。日々の生活で精一杯の私には、羨ましさと見習いたいという思いが、沸き上がってきます。せめて、身近な出来事のひとコマだけでも、記憶にとどめておきたいと、観察しながら思いました。

- 1)エゴノキ に清楚な白い花が、たくさん咲いています。毎年のことながら、思わず見とれてしまいます。葉を良くみると、時々丸くなっているものがあります。これはエゴノキのオトシブミです。中にはエゴツルクビオトシブミという、オトシブミ科の黒い虫が入っています。これはメスが葉を丸めて、子どもの為にゆりかごを作ったものです。
- 2)南広場では、イタドリに負けそうになりながらも、ハルジオンが花を咲かせています。ハルジオンは、大正時代に北米から、鑑賞用として持ち込まれました。茎は中空で、つぼみの時は花序全体がうなだれています。ヒメジョオンは姿形がそっくりですが、開花時期が少し遅く、初夏に咲きます。どちらも良く見かけますが、可愛い花です。
- 3)鳥を見分ける時は、大きさは一つのポイントになります。良く見かける鳥のうち、基準になる大きさの鳥を、「ものさし鳥」と言います。カラス・キジバト・ヒヨドリ・スズメなどです。「あの鳥は、キジバトと同じくらいの大きさで…」というように使います。囲いやまでは、カラスやキジバトなどが見られます。キジバトは、「デデッポッポー、デデッポッポー」と聞こえる声で鳴きます。木の多い公園などで見かけます。巣は、木の上などに作るが多いようです。求愛時期には、頭を寄せ合って、仲良いしぐさを見せたりします。微笑ましいですね。
- 4)良く見かけるテントウムシには、ナナホシテントウとナミテントウがいます。ナナホシテントウはテントウムシの代表格、しかし実際はナミテントウの方を良く見かけます。両方の成虫・幼虫ともアブラムシを食べます。「天道虫」と書きますが、文字どおり明るく暖かい環境を好みます。写真のトホシテントウは、囲いやまでは良くみかけますが、カラスウリなどの葉を食べます。
- 5)南広場の真ん中で成長しているオカウコギが花をつけ始めました。近寄って観察すると、薄緑で5弁の小さい花をたくさん咲かせています。枝には太い刺があります。葉の付き方も面白いので、観察してみてください。刺に気をつけて下さいね。

開花植物

木本 ミズキ・ハリエンジュ・エゴノキ・オカウコギなど

草本 ハルジオン・オオイヌノフグリ・タチイヌノフグリ・オオアラセイトウ・ノゲシ・オニタビラコ・セイヨウタンポポ・ギンラン・ヒメオドリコソウ・カラスノエンドウ・カタバミ・ノイバラ・ヤエムグラ・ハコベ・ヤブジラミ・ヤブニンジン・スズメノテッポウ・スズメノカタビラなど

鳥 ヒヨドリ・コゲラ・ハシブトガラス・シジュウカラなど

昆虫 ヤマトシリアゲ・トホシテントウ・ナミテントウ・クロウリハムシ・アワフキ・ガガンボ・エダシャクの仲間・コメツキムシの仲間・ハバチの仲間・ガの仲間など

クモの仲間 2～3 種

キノコ スエヒロタケ・カワラタケなど

囲 いやまの森

2008.5.20(火) 雨 山田幸子

小満： 陽気が天地に満ちて、草や木が生い茂ってくる頃です。日照時間が年間で最も多い時期で、囲いやまの森でも草木の花が咲き、緑が深まってきました。



緑の深まり



南広場のイタドリ



オカウコギ



ハルジオン



カタバミ



マユミ



エゴ/キ



トホシデントウ



コメツキムシの仲間



誰かな？



エゴ/キのオトシフミ



ノイバラと虫



ハバチの仲間



イヌザクラにシャクトリムシ



キジバト

囲いやま森の会 連絡

2008.5.26 野口功

定例活動は、2回続けて雨にたたられ、中止となりました。
当面の日程をお知らせします。

6月1日(日) 10:00~12:00 公民館成人講座「まつど環境ゼミナール」(第2日目)

- 1) 森の中を歩いてみよう。(囲いやま森の会) 40分程度
- 2) 紙芝居「松戸の緑は誰のもの？」(高橋盛男) 20分程度
- 3) 森のお世話をしてみよう。(伸びてきたアオキの刈り取り) 40分程度
- 4) ふりかえり(高橋盛男) 10分程度
- 5) まとめ 10分程度

森の案内と下刈り作業の指導にご協力をお願いします。

6月7日(土) 10:00 定例活動日 定例清掃、掲示板の補強

午後、翌日の「森の楽校」の準備

写真の掲示(今年の音楽会の時と同様)

巣箱の材料準備(板に寸法付けと穴あけ)

木の名札の準備

シュロの葉の採取

丸太切りの準備

6月8日(日) 10:00~14:00 第3回「森の楽校」

ちばコープテーマネット里山応援団と囲いやま森の会の共催 募集 20人

- 10:00 挨拶、森の紹介、スケジュール確認、安全の注意
- 10:20 森の観察(2班。名札をつける木選びもかねて)
- 11:00 名札に木の名前を書いてつける(その木の説明も)
- 11:50 昼食(南の広場。カレーライス。ご飯と食器は各自持参)
- 12:35 巣箱づくり、丸太切り、シュロの葉細工(籠、バツタ)
- 13:35 巣箱かけ

森の案内、名札をつける木の説明、名札・巣箱の作成・取付け、丸太切りの指導にご協力をお願いします。

6月11日(水) 収集ごみの回収立会い

5月30日(金) 18:00 緑フェスティバル交流懇親会、松戸駅東口「はなの舞」、会費 4,000円

5月31日(土) 13:00 松戸里やまクラフトの会(野口宅) 参加費 500円

ひばり笛・ウグイス笛・カッコー笛など、子どもと作れる簡単な笛づくり

●夏の高山植物観察会「八島湿原」の出欠の連絡をお願いします。

●今年度会費未納の方は納入をお願いします。すでに保険料を負担しています。

関連団体等から次の呼びかけが来ています

① 『関さんの森エコミュージアム開設記念シンポジウム』の後援

『関さんの森』は、『関さんの森・エコミュージアム』として整備し、新たにスタートすることになり、発足を記念して、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。貴団体におかれましては、『後援団体』としてご支援たまわりたく、お願い申し上げます。

テーマ みんなでつくろう 関さんの森エコミュージアム

日時 2008年7月21日(月)海の日 13時30分～16時40分

会場 流通経済大学新松戸キャンパス講堂 (JR 新松戸駅下車徒歩5分)

主催 関さんの森エコミュージアム準備会 関さんの森を育む会 埼玉県生態系保護協会

後援 関さんの森訪問団体、緑問題に関連のある行政機関・団体等に要請中

内容 基調講演、パネルディスカッション、その他

基調講演：池谷奉文氏（日本生態系協会会長）

パネルディスカッション：池谷奉文氏（日本生態系協会会長）

関啓子氏（一橋大学大学院社会学研究科教授）ほか

* 囲いやま森の会として後援団体に名を連ねたいと思います。

② 夏のボランティア体験講座「Let's 体験!!2008」の受け入れ

目的	若者たちに、地域の課題に取り組む NPO・市民活動団体でのボランティア体験の機会を提供することによって、彼らの地域社会への関心と理解を深めること、また自我の形成を支援することを通し、次世代のリーダーを育成する。
対象	松戸市に在住・在学の中学生・高校生・専門学校生・大学生・20代の青少年
期間	2007年7月13日（日）～8月31日（日）

今年も受け入れたいと思います。（昨年は、女子中学生3人が森の作業体験をしました）

③ 与謝野晶子の歌碑建立（高橋盛男さんから）

千葉大学園芸学部の創立100周年（来年）を記念して、戸定が丘を訪れ、「松戸の丘」として短歌を詠んだ与謝野晶子の歌碑を建てようという呼びかけを始めます。

ぜひ、皆様、ご協力ください。

○募金は1口以上で、できるだけ郵便振替でお願いします。

○発起人になってくださる方は、お申し出ください。

（発起人は、積極的賛同者としての表明というくらいの意味合いで、募金集めのノルマ等は一切ありません）

各自ご判断ください。

囲いやま森の会 観察記録

2008.6.11 野口 功

日 時： 2008.6.7 (土) 10 時～ 天気： 雨

記録・写真： 山田幸子

囲いやまの周りでは少なくなってきましたが、「里山」は、小さい頃見慣れた土地や田圃のイメージがあります。また懐かしさも覚えます。漢字に関する本を読んでもみると、(里山の風景を見て心が癒されるのは、田と共に生きてきた先祖たちの遺伝子が、体の中に流れているからでしょう)と記してありました。鬱陶しい雨も、田のため・里山のためと思うと、ありがたいものを感じてきます。この雨で育っていく自然に、元気をもらっています。

- 1) サワフタギは、入り口広場の人家側茂みにあります。今の時期は、青々とした葉をつけています。春先には、白い小さな花をたくさんつけます。毎年花を眺めることを楽しみにしていますが、今年は見逃してしまいました。5月9日に池田さんが撮影してくださいました。ご覧ください。とても綺麗ですよ。花は来年のお楽しみとして、秋には鮮やかな藍色の実をつけますから、ぜひ観察してみてください。
- 2) スズメはとても身近な鳥として、よくみかけます。繁殖期にはつがい生活し、主に昆虫などを食べます。秋冬は群れて生活し、「スズメのおやど」とよばれる集団ねぐらをつくります。その時期は、主に草の実を食べます。いつも見かけている割には、じっくり観察しないものです。姿が思い浮かびますか？ 頭は茶色で、頬に黒斑があります。翼は茶と黒のまだらになっています。威嚇・警告・さえずり・地鳴きなど、色々な鳴き声をたて、しぐさも決まりがあるようです。一度観察してみてはいかがでしょうか。
- 3) キノコは識別が難しいものです。囲いやまでも、常に数種類観察できます。前回もカワラタケ・スエヒロタケの他に、キララタケ・ビロードエノキタケ・アラゲキクラゲ・キクラゲなど観察できました。(山口さんの追加記録) 素人の私には、食べるのが怖いキノコが多い中で、アラゲキクラゲとキクラゲだけは馴染みがあります。コリコリとした食感はまさに、クラゲそのものですね。
- 4) オニタビラコは、囲いやまでも良く見かけます。早春から晩秋まで次々と、タンポポによく似た花を咲かせます。キク科の在来種で、人の手が加わったようなところで目にします。春の七草で言われるホトケノザ(実はコオニタビラコ)の仲間です。柔らかな印象の植物です。
- 5) フクロウの姿とフンを確認しました。4日に南広場人家側のミズキの奥から、オカウコギの3mほど上空を、まさに音もなく真一文字に横切り、エノキの奥に飛び去りました。イヌザクラの下で羽を、シロダモの側ではフンを発見しました。羽とフンの写真を、猛禽に詳しい知り合いに調べてもらったところ、フクロウの成鳥のものとのことでした。フクロウは、巣となる洞をもつ大木がある、神社やお寺などで、見られることがある。私がみたフクロウは、何処で暮らしているのでしょうか。

開花植物

木本 ムラサキシキブ・ネズミモチ・アカメガシワなど

草本 セイヨタンポポ・ノゲシ・オニタビラコ・ハルジオン・オオイヌノフグリ・タチイヌノフグリ・ヘビイチゴ・カラスノエンドウ・カタバミ・ナズナ・イヌナズナ・ユキノシタ・ハコベ2種・ギシギシ・ヤエムグラ・コヒルガオ・スズメノカタビラ・スズメノテッポウ・ハキダメギク・オヤブジラミ・ドクダミ・オオバコ・ツユクサ・ミチヤナギなど

鳥 ウグイス・シジュウカラ・コゲラ・ヒヨドリ・フクロウ・コジュケイ・ハシブトガラスなど

昆虫 クロウリハムシ・ナミテントウ・アブの仲間・キタテハ・モンシロチョウ・ダンゴムシ・ハナバチの仲間など

キノコ カワラタケ・キクラゲ・そのほか3～4種

クモ ジョロウグモ・クサグモ・オオシロカネグモなど

そのほか エゴノネコアシ・シロダモハコブフシ・アオキミフクレフシ・エノキハトガリタマフシなど

囲 いやまの森

2008.6.7(土) 曇り 山田幸子

芒種： 稲や麦など穂の出る穀物の種播き・田植えの時期です。
今年の梅雨入りは6月2日で、平年より6日も早く、梅の実が黄ばみ始めました。



森の緑



フクロウの羽



フクロウのフン



スズメ



ダンゴムシ



オヤブジラミとアリ



オヤブジラミ



サワフタギ



オニタビラコ



ハキダメギク



ナズナ



カラスウリの芋



サワラの実



ヘビイチゴ



ウツミザクラ

囲いやま森の会 活動記録

2008.6.24 野口 功

日 時: 2008.6.17(火) 10～12 時 30 分 天気: 曇り

参加者 新井、池田、高鳥、土田、西澤、野口、三嶋、山口、山田

9 名

気温が上がり、雨も多くなって、森全体が活気づいています。スズメバチの女王蜂が、北側広場周辺を盛んに飛び廻り、営巣場所を探していました。共存したいとは思いますが、活動場所近くに営巣されては困るので、次回に蜂トラップをつけたいと思います。

活動内容

- ①南広場から草地に通ずる通路沿い枯木を除伐した
- ②南広場に伸びているイヌザクラの大枝の上に倒れこんだ枯木を除伐し、イヌザクラの枝の支え木として活用した。
- ③森の楽校で作った巣箱 3 個を取り付けた。
 - A 北側広場から見えるイヌザクラの木〔北向き〕(森の楽校の時に取り付け)
 - B 南東の笹藪の中のコナラの木〔南西向き〕
 - C 通路に囲まれた中のイヌシデ〔南東向き〕
 - D 西側道路近くのムクノキ〔南向き〕

いずれも、シショウカラやヤマガラなどが対象の巣箱です。今年の子育ての時期はほぼ終わっているもので、来年の営巣が楽しみです。条件の違うところにかけているので、どんな結果がでるでしょうか。

連絡・報告事項

- ①次回の定例活動日 7 月 5 日 (土) 10 : 00～
- ②前回集めたゴミは、6 月 11 日、市が回収してくれました。
- ③6 月 8 日、ちばコープテーマネット・里やま応援団と共催で、「森の楽校」を行いました。

参加者 4 家族 (松戸・市川・浦安・千葉) 15 名 (大人 6、小学生 2、幼児 7)。
スタッフ・囲いやま (新井、池田、野口、三嶋、山口)・里やま応援団 (佐竹・高木、森田)
森の観察、北側広場周辺の木に名札付け、カレーライスの昼食、午後、巣箱作り (6 個)
最後に、広場近くのイヌザクラに巣箱を取り付けました。
広場周辺には、森の四季の写真を掲示しました。
- ④千葉大学園芸学部に移転問題で、移転に反対する市民の会に「賛同書」、千葉大学学長と園芸学部長に園芸学部松戸存続の要望書を提出しました。

園芸学部の移転に反対する署名運動が、全市的に取り組まれています。千葉大園芸学部の松戸存続、キャンパスの緑保全のために、積極的に署名にご協力ください。
- ⑤八幡腰の森について、地主さんと協定書が正式に締結されました。

今後、定例活動日は、毎月第一月曜日と第三火曜日です。
当面は、地主さんとの協議や作業計画づくり、協定の認定申請手続きなどです。
運営は、里やま応援団グループ全体で当たります。
検討会議や作業に、会員の皆さんの積極的なご参加をお願いします。



コナラの巣箱

2008.6.17
園いやま活動
写真報告



イヌシテの巣箱



枯木の伐倒作業



南広場のイヌザクラ



伐倒後



こんなキ/コ



キ/コの観察